

Beauties presents
WEEKEND CINEMA Vol.7

アウシュヴィッツ強制収容所解放から 71 年
クロード・ランズマン監督 傑作ドキュメンタリー 3 作品上映
ホロコーストの“記憶”と“記録”

「SHOAH ショア」

SHOAH (1985)

「ソビブル、1943年10月14日午後4時」

SOBIBOR, 14 OCTOBRE 1943, 16 HEURES (2001)

「不正義の果て」

LE DERNIER DES INJUSTES (2013)

監督：クロード・ランズマン
TROIS FILMS DE CLAUDE LANZMANN

2016年3月11日(金)・12日(土)・13日(日)

会場 アンスティチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)



INSTITUT
FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ日本
JAPON



VALERIA 協力：映画酒場編集室

Beauties presents WEEKEND CINEMA Vol.7



© Les Films Aleph

『SHOAH ショア』

第1部 (154分)、第2部 (120分)
第3部 (146分)、第4部 (147分)

1985年 / 567分 / カラー / デジタル

監督: クロード・ランズマン

第二次世界大戦中、ドイツやナチスの占領下で実行されたユダヤ人の強制収容、ホロコースト(大量虐殺)の全体像を、関係者の証言のみで構成した全9時間27分の傑作ドキュメンタリー。収容所から生還したユダヤ人、元ナチス親衛隊員、収容所の近くに住み当時の状況を目撃していたポーランド人、歴史学者ら莫大な数の証言者を訪ね、彼らの言葉(肉声)を収録。過去の記録映像や感傷的な音楽を一切排して作られた第1級の芸術作品である。



© Les Films Aleph, Why Not Productions

『ソビブル、1943年10月14日午後4時』

2001年 / 104分 / カラー / デジタル

監督: クロード・ランズマン

映画『SHOAH ショア』の後半でも明らかにされた、収容所でのユダヤ人による武装蜂起の計画と挫折。そのなかでも、ガス室での虐殺を中止に追い込んだソビブル収容所での過酷な逃亡劇を、16歳で収容所に連行され蜂起を成し遂げたイェフダ・レルネルが語りだす。ひとりの生還者の記憶と証言によって“ユダヤ人は羊のようにおとなしく殺されていったのではない”という事実を明らかにした、ランズマン幻の傑作。



© 2013 SYNECDOCHE - LE PACTE - DOR FILM - FRANCE 3 CINEMA - LES FILMS ALEPH

『不正義の果て』

2013年 / 218分 / カラー / デジタル

監督: クロード・ランズマン

ランズマン監督の最新作。アドルフ・アイヒマンが、大戦中に世界を欺くために選んだ“模範収容所”テレージエンシュタットの真実を、同収容所の生還者でユダヤ人長老ベンヤミン・ムルメルシュタインの証言で明らかにする。かつて自身も戦争協力者として告発された男が、ナチスの戦犯として絞首刑に処されたアイヒマンの知られざる性格面を白日の下に晒したこの作品は、ホロコーストの偉大な歴史的解明のひとつ。撮影は、ウィリアム・リュブチャンスキー、キャロリーヌ・シャンプティエ。

《上映スケジュール》

3月11日 [金]	11:00 SHOAH ショア 第1部	14:00 SHOAH ショア 第2部	16:15 SHOAH ショア 第1部	19:10 ソビブル、1943年 10月14日午後4時
3月12日 [土]	10:30 SHOAH ショア 第1部	13:20 ※終了後トークあり SHOAH ショア 第2部	16:20 SHOAH ショア 第3部	19:00 SHOAH ショア 第4部
3月13日 [日]	11:00 不正義の果て	15:10 ソビブル、1943年 10月14日午後4時		

《トークイベント》 ■3月12日(土)

13:20~『SHOAH ショア』第2部上映終了後(15:20頃~)

高橋武智さん(仏文学者・翻訳者) トーク(30分程度)

◎今回上映する3作品の字幕を監修した高橋武智氏は、『SHOAH ショア』が日本で初公開された際に大変尽力された方であり、日本語版テキストの翻訳、解説も手がけています。ランズマン監督と長年の親交を結びランズマン作品の“生き字引き”ともいえる高橋氏自らが語る「SHOAH ショア」についてのトークを、ぜひお楽しみください。

クロード・ランズマン CLAUDE LANZMANN

1925年11月27日、フランスに生まれる。第二次世界大戦中、高校在学時にレジスタンス活動へ参加。以後ジャーナリストとして活躍。73年に初監督作『なゼイスラエルか』を発表。85年に公開した『SHOAH ショア』は世界中で大きな反響を呼ぶ。その後もユダヤとイスラエルをテーマにしたドキュメンタリー作品を数々手がける。レジスタンス運動の功績に対しレジスタンス勲章を授与され、国家功労大十字勲章も受賞。2013年にはこれまでの功績にベルリン国際映画祭名誉金熊賞が送られた。



【料金】一律800円

※会員、学生、シニアも問わず一律800円。

※前売券はありません。

※『SHOAH ショア』は1部ごとに800円をいただきます。ただしWEEKEND CINEMAでは過去の上映も含め3回ご覧になった方は4回目が無料となります。

※入場者には『SHOAH ショア』日本初上映時(1995年)の特製パンフレット(監督による言葉、関連資料を収録)をプレゼントいたします。

Beauties presents WEEKEND CINEMA は、配信サイト Beauties と連動した映画上映会です。上映と共にさまざまなゲストによるトークショーも行い、映画の美しさ、楽しさ、感動をお伝えします。劇場で、オンラインで、ぜひご堪能ください。(※後日トークショーの様子も動画配信予定)

映画配信サイト

Beauties

1作品350円で2日間10回まで再生可能。お手持ちのモバイル、PCで高画質な映像でお楽しみいただけます。

2月上旬より『SHOAH ショア』他2作品の配信スタート!
<http://beautiesweb.com>

お問い合わせ マーメイドフィルム TEL: 03-3239-9401

【会場】アンステイチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)

最寄駅・飯田橋駅: JR 総武線、東京メトロ有楽町線・南北線・東西線、都営地下鉄大江戸線

駅からの所要時間(徒歩)・JR: 西口より7分 地下鉄: B3出口より7分

問い合わせ電話番号: 03-5206-2500 URL: www.institutfrancais.jp/tokyo

